

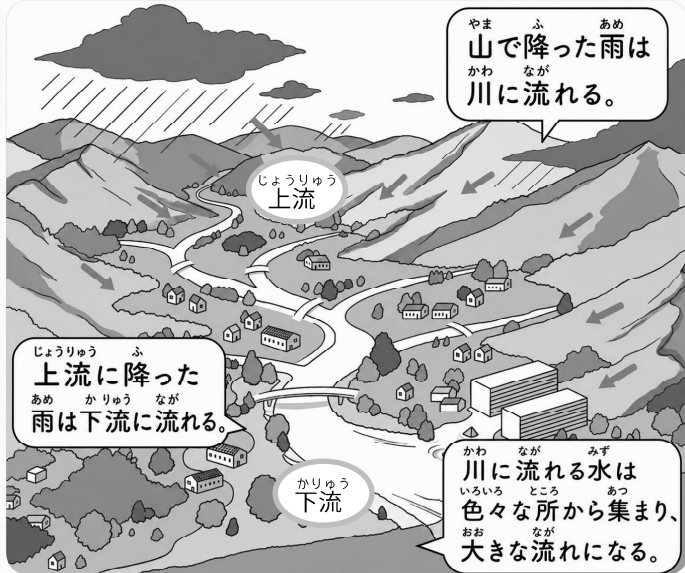


かわ みず はんらん

川の水が氾濫するまで

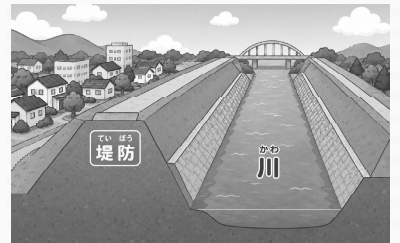


さいきん たいふう おおあめ かわ みず おお
 最近では台風や大雨の日に川の水があふれることが多いね。
 かわ みず
 川の水はどのようにしてあふれるんだろう？



ぜんかい りゅういき せつめい りゅういき ふ あめ
 前回、流域について説明したけど、流域で降った雨が
 かわ あつ かわ みず ふ
 川に集まることで川の水は増えていくんだ。
 たいふう ばっせい ちか あめ かぜ つよ
 台風が発生し近づいてくると、雨や風がだんだん強く
 なっていき、水の量はどんどん増えていくよ。
 かわぞ つち も ていぼう たか
 そして、川沿いにある土を盛ったかべ（堤防）の高さ
 をこえてしまうことがあるんだ。これを氾濫というよ。

ていぼう
【堤防】
 おおあめ う
 大雨が降ったときなどに川の水
 があふれてしまわないように土
 を盛って固めたかべのこと



岡山県で起こった最近の水害



おかやま けん かわ みず
 岡山県でも川の水があふれたことがあるの？

ごう
【豪雨】

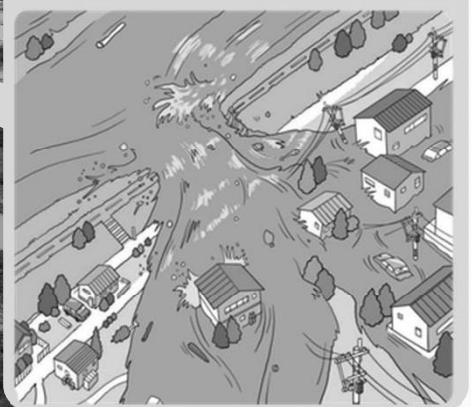
とてもたくさんのあめ ふ
 雨が降り、
 おお ひがひ ばっせい あめ
 大きな被害が発生した雨のこと



さいきん へいせい ねん がつ ごう かわ みず ふ
 最近では、平成30年7月豪雨により川の水が増え、
 ていぼう
 さらに堤防がこわれたことで、川の水が広範囲にあふれ、被害を受けたよ。



かわ みず ごうはんい
 ②川の水が広範囲にあふれた



クイズに チャレンジ！



問題：平成30年7月豪雨で大きな被害があった倉敷市真備町など、岡山県内で過去に災害が起こった
 地域では、文字が刻まれた石を見かけるよ。これらの石が置かれている目的として正しいのはどれ？
 A. 過去に起こった災害について伝えるため
 B. 災害時に安全な避難場所の目印とするため
 C. 桃太郎伝説のストーリーを伝えるため

こた うらめん
 答えは裏面にあるよ





クイズの解答・解説

解答

A. 過去に起こった災害について伝えるため

解説

こうした石には、過去にその土地で起こった自然災害について、災害の様子や被害状況などが書かれているよ。災害は、いつどこで発生してもおかしくないし、同じような場所でくりかえし起こる可能性もあるんだ。でも、時間がたつと災害の経験などを伝える人は少なくなり、災害の記憶は薄れてしまうよ。そこで、過去の災害を振り返り、あらためて地域の危険性を未来の人々へ伝えていくために、この石を置くことにしたんだ。このような石のことを、自然災害伝承碑と呼んで、岡山県内には43箇所あるよ。また、その他にもいろいろな形で災害について伝える*防災資産が日本全国にはたくさんあるよ。自然災害伝承碑や*防災資産について、下の二次元バーコードから調べることができるから、どんな場所にあるか探してみよう！



平成30年7月豪雨

場所：岡山県倉敷市真備町箭田



昭和9年 室戸台風

場所：岡山県岡山市北区丸の内二丁目(岡山城内)

★防災資産：地域の過去の災害を振り返り、未来の人々へ伝えるための場所や活動のこと。

《参考資料》

- 自然災害伝承碑とは



- 平成30年7月豪雨の体験談



- 日本全国における自然災害伝承碑の分布図



- 岡山県内における浸水実績



- NIPPON防災資産

